

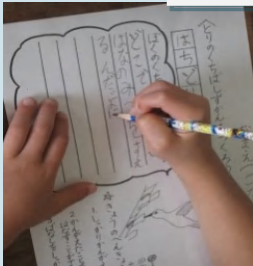
## B-3 評価の工夫

### 学んだ喜びを実感できる評価

#### 学ぶことの価値を味わう自己評価・相互評価

- 自己の学習をふりかえる手立てを工夫する。
  - ・場の設定・評価カード・吹き出し・文章化
  - ・相互評価(感想を言い合う、メッセージ、評価カードに相互評価の欄を必ずもうける。)
  - ・課題や教材とのかかわり(価値あるもの、本質に迫るもの、やってみたいもの)
  - ・単元設計において意図的に設定を工夫
  - ・1単位時間において意図的に設定
  - ・場の工夫

#### 国語



#### ワークシート

ふきだして、学びをまとめ、ワークシートでは学習態度面を自己評価

#### 算数

算数・ふりかえりカード 名前( )

日 月 ( )

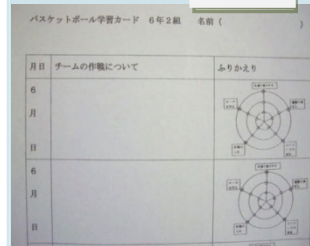
頭	自分の考えがどのくらいできたか?	(○) (□) (△)
鏡	それぞれの意見について考えることができたか?	(○) (□) (△)
目	話し合いの場をしっかりと見ることができたか?	(○) (□) (△)
耳	相手の考えをしっかりと聞くことができたか?	(○) (□) (△)
口	相手に考えを伝えることができたか?	(○) (□) (△)
心	やさしい気持ちで話し合えたか?	(○) (□) (△)

☆心に残ったこと、よかったこと、思ったこと

#### ふりかえりカード

短時間で簡単に書けるもの。観点ごとにしっかきとふりかえり、次時へ生かすことができる。

#### 体育



#### レーダーチャート

目で見て分かりやすい。子供とともに評価観点を決めることもできる。

#### 算数



#### 相互評価

「今日のいちばん星」に選ばれて自己の成長を実感し、にっこり

#### 授業に生きる評価

- 授業に生きる評価を工夫する。PDCA の授業改善サイクルを意識して実践を重ねる。
- 教師は児童の実態を見取り、つきたい力を明確にする。(評価規準・基準の利用)
- 評価補助簿等を工夫し、授業に生かす。  
(座席表等を使い支援の必要な児童の手立てを明記する。)

- 朱筆
- 1時間1目標1評価

考えを持つ場面で児童の状況をワークシートに丸をつけながら把握するとともに短時間で支援。まるをもらった児童は自信をもって発表へ。つまづいていた児童はヒントをもらって納得。

